

水産技術センター・研究課題中間評価表

山梨県水産技術センター課題評価委員会(2010.1.26)

試験・研究課題名：琴川ダム貯水池湛水後の環境及び魚類相

大課題名：河川湖沼漁業の振興

小課題名：資源管理技術の開発

細目課題名：人工湖の水産利用に関する調査

担当者名：研究員 岡崎 巧

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究の進捗度	5 / 5	水質、餌環境など、よく調べており、魚類の成育場としての可能性についても進捗が認められた。
2 研究内容の妥当性	5 / 5	貯水池の有効利用として良い着眼点であり、研究内容は妥当である。
3 研究成果の期待度	4.8 / 5	成果には期待が持てる。前回に指摘のあったワカサギの生育可能性と、今回明らかになったイワナ、アマゴの成長については、今後の研究成果にさらに期待したい。
4 研究継続の必要性	5 / 5	まだ解明されていない点も多く、今後も継続調査が必要である。集水域からの落葉の流入等が、湖の栄養に及ぼす影響についても知りたい。
総合評価	4.9 / 5	外来種の放流については依然懸念されるため、地元漁業者との密接な連携を期待したい。 また、奥只見湖のように特色のある人工湖として、長期的な視点に立った資源管理を行っていただきたい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

外来種の密放流については看板が設置してあるが、今後も、行政、漁業権者等と協力して、防止対策を行っていききたい。

当貯水池の水産利用に資するべく、今後も調査を実施していききたい。